

WALL 02 HANGER

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守り下さい。

⚠️ 置き方

- ❌ **固定用金具や固定部材でしっかり固定してください。**

地震などでハンガーが倒れ、ケガをする事があるので、お部屋の壁に市販の固定用金具や固定部材でしっかり固定してください。また、ハンガーの上に物を置く際には、置き方にご注意ください。落ちてケガをしたり、床面のキズや破損の原因となる事があります。

- ❌ **直射日光や熱・冷暖房器の強風などが直接あたらない様にしてください。**

ハンガーが変形・変色、又火災の原因となる事があります。

- ❌ **ハンガーは床面の平らな場所に水平になるように置いて下さい。**

ガタツキがあるまま使っていると棚板等の変形やゆがみの発生や、壊れたりケガの原因となる事があります。

- ❌ **敷物などを敷いて使用して下さい。**

床面がフローリング・クッションフロアー・畳などの場合は、敷物などを敷いて使用して下さい。床面のキズ防止になります。

⚠️ 保守・点検

- ❌ **ネジがゆるみ始めていたら、しっかりと締め直してください。**

ネジはゆるみやグラツキがないか時々点検し、ゆるみはじめていたらしっかりと締め直してください。ゆがみの発生や、壊れたりケガの原因となる事があります。

- ❌ **修理及び改造はしないで下さい。**

製品の強度を弱めケガをする事があります。

⚠️ 耐荷重について

- ❌ **ハンガーパイプの耐荷重は5kgです。それ以上の重さのものをぶら下げないで下さい。ハンガーの破損や倒壊の原因となります。**

また、天板・棚板の耐荷重は5kgです。天板だけにモノを乗せると、重心が上になり、安定性がなくなります。棚板にもモノを載せて、バランスを取って下さい。

Material : Steel pipe (粉体塗装仕上げ)

⚠️ 使用上の注意

- ❌ **棚板の上に立ったり飛んだりしないで下さい。**

踏み台の変わりに使ったり腰掛けたり等もしないでください。転倒シケガや破損の恐れがあります。

- ❌ **ぶら下がったり、無理な力で引っ張ったりしないでください。**

ハンガーパイプにぶら下がったり、無理な力で引っ張る等しますと、転倒シケガや破損の恐れがあります。

- ❌ **熱いものや濡れたものを長時間置いたり、ビニール等で覆って使用しないでください。**

ハンガーに直接熱いものや濡れたものを長時間置いたり、ビニール等で覆って使用しないでください。塗料が変色したり、塗装がはがれたり、錆る事があります。

- ❌ **天板、棚等の上に灰皿や食器等、底のザラついたモノを直接置いて引きずったりすると傷つく事がありますのでご注意ください。**

⚠️ 手入れ方法

- ❌ **塗装面のホコリは、通常柔らかい布の乾拭きだけで十分です。**

塗装面のホコリは、柔らかい布又はハタキで軽く払ってください。硬い布でホコリの上から強くこすると細かなキズがついてかえって逆効果になります。通常は柔らかい布の乾拭きだけで十分です。汚れのひどい時は、薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後水で浸した布で洗剤分をよく拭き取ってください。次に乾いた布で軽く拭いた後、自然乾燥させてください。

- ❌ **化学ぞうきんを長い間接触させたままにしておくと、変色や表面がはげたりする事がありますのでご注意ください。**

⚠️ 移動

- ❌ **棚の上のモノは一度すべて下ろしてから移動を行ってください。**

ハンガーを移動する時は、棚板の上のモノを落としたり倒したりして、ものを壊したりケガをする事がないように、なるべく棚の上のモノは一度すべて下ろしてから移動を行ってください。移動の際は、必ずジョイント部分より下を両手でしっかり持って運んでください。ジョイント部分から下が外れて、脚のうえに落ちてケガをしたり、床にキズを付けるなどの原因となります。

Joint 組立方法

組み立ては、床に寝かせた状態で行なって下さい。硬い床の上で行なうと、床を傷つけたり、本体の塗料が剥がれる原因になりますので、柔らかい布またはカーペットの上で作業を行なって下さい。

1

上支柱

ハンガー

ジョイント部

(※キャップを外さずそのまま組立てて下さい)

床に寝かせた天板のジョイント部に、上支柱を差し込みます。次に、ハンガーを上支柱のジョイント部に差し込んで下さい。拡大図のように、ネジを締めて下さい。

ネジは仮留めて締めて下さい

※上支柱の上部は、溶接部分を隠すため、外側が少し長く、左右非対象になっています。左右の取付にはご注意ください。

2

棚板と下支柱を組み立てて下さい。※左右の付け違いにご注意下さい。棚板は、前方が浅い奥行の設計になっています。

ネジは仮留めて締めて下さい

3

転倒防止プレート

仮留めた上半分と下半分とをジョイントします。※接続部にネジ留めはありません。※天板の転倒防止プレートは、ご家庭の壁に適合するネジ等で固定して下さい。

ジョイント後ネジを本留めて下さい

4

キズ防止クッション装着部

移動の際は、必ずジョイント部分より下を両手でしっかり持って運んでください。

30cm

ネジを全て本留めし、立て掛ける時は、足と壁面を30cm離して下さい。※本紙側面のメジャーをご利用下さい。揺れやズレの防止にキズ防止クッションを天板に取り付けて下さい。